

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇PVC Design Award 2015 発表&amp;表彰式

PVC Design Award 事務局

## ■随想

◇マラウイ共和国旅行記（番外編）－ヨハネスブルグお土産情報－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

## ■編集後記

## ■トピックス

## ◇PVC Design Award 2015 発表&amp;表彰式

PVC Design Award 事務局

11月16日に東京一ツ橋の如水会館で、「PVC Design Award 2015」の表彰式と記念パーティーが、受賞された方々、制作に携わった方々、メディアの方々など、130名を越える参加者を得て、盛会に開催されました。

本年で5年目となる「PVC Design Award 2015」には、全国からデザイン提案186件、製品応募86件、合計272件が寄せられ、審査委員5名による一次審査、最終審査を経て、大賞2点、優秀賞3点、入賞17点が決まりました。[\(受賞作品一覧\)](#)

大賞2点には、日立化成(株)・渡邊敬嘉氏の「日立ラップ ブルータイプ」と(株)ナショナルマリンプラスチック・ノリノリデザインプロジェクトチームの作品である「テトラサーバー」が選出されました。

「日立ラップ ブルータイプ」は、業務用の食品用青色ラップフィルムで食品への異物混入に対するリスク対策として開発されたものです。塩ビラップの食材をピッタリ包んで鮮度を守る従来からの特性は保持し、ラップを透明から色付きにすることにより、万一、食材にラップ片が混入しても青色なので見つけやすく、食の「安心・安全」を管理するところが評価されました。製品の形状に留まらず、課題解決する取組そのものがデザインの対象となることを示す作品ともなりました。

「テトラサーバー」は、「避難所における現代の水がめ」として開発されたもので、テトラパックの形をした災害時の簡易型水タンクとして飲料用あるいは簡易シャワーとして使用するものです。災害時に一番心配となる「水の提供」という安心を提供するところ、及びトータルなデザイン性が評価されました。この製品は、成形加工に携わる企業が、はじめからデザイナーとタッグを組んで新製品の開発を行ったものであり、デザイナーとの協働のあり方の一つのモデルを示す取組となりました。



大賞受賞者

(左) 日立化成(株) 渡邊敬嘉 氏

(中) (株)ナショナルマリンプラスチック・ノリノリデザインプロジェクトチーム 時田宗弘 氏

(右) 同 梶本博司 氏

優秀賞3点には、横山友美氏の防災レインコート「mo shi mo」、(公社)日本工業デザイナー協会スタンダード委員会キッズデザイン部会・久永 文氏の製品設計時に子供の安全を守るために使用するマネキン「KIDS DESIGN TOOLS 3D キッズモデル」、フクビ化学工業(株)・川又周太氏、リフォジュール(株)・飯島潤氏の震災時の天井落下に対応した安全膜天井システム「リフォジュール 膜天井アコースティックシートタイプ」と、3点とも「安心、安全」を提供する防災関連作品の受賞となりました。

この企画を後援頂いた経済産業省からは福島洋大臣官房審議官から、新しいデザインや製品を振興することは次の産業や社会を形成する上で非常に大切な取組であると評価いただき、新しい製品が早く上市され、生産活動と消費活動が円滑に進むことを期待するメッセージを、また、日本工業デザイナー協会(JIDA)の田中一雄理事長からは、今回はPVCとテーマ「安心、安全、快適」という限られた条件の中で新しい発想力が生かされ素晴らしい作品が生まれておりまだまだ発展して行く、大きな励ましとなるご挨拶をいただきました。



経済産業省  
福島審議官



JIDA  
田中理事長

表彰に続いて、石橋審査員代表から、選考に当たったの講評が行われました。回を積み重ねるごとに最終審査に回る作品の質が上がっていること。大賞2作品は、課題を決め、素材を知り尽くし、いかにして市場に出すかというところまで含めたデザインが優れており甲乙つけがたかった、との評価を頂きました。



石橋審査委員代表

デザイン提案の試作や多数の製品応募を頂いた方々には感謝状が贈呈されました。また、今年は、主催団体の「日本ビニール商業連合会」と「日本プラスチック製品加工組合連合会」より、2団体の視点から優れている作品を選定し、奨励賞を贈呈することとなりました。製品応募作品の中から投票により選出された作品4点(大賞、優秀賞は除く)が表彰を受けました。

表彰式終了後には、受賞者をお招きして記念パーティーが開催されました。たくさんの若い方々が参加され、入賞された作品を前に受賞者がメディアや参加者に作品の狙いや苦心談、製品化に向けた取組などを説明する様子が見られました。

尚、今回の受賞作品と惜しくも入選を逃したデザイン提案・作品について、応募者の了解を得て、東京、名古屋、大阪、福岡の各会場で展示会を行います。また、エコプロダクツ2015(12/10-12, 東京ビッグサイト)でもVEC・JPECのブースで展示されます。是非、お運びいただければ幸いです。

東京	2015年11月19日~20日	会場：六本木アクシスギャラリー「シンポジア」
大阪	2016年1月25日~26日	会場：大阪メルカート会館 F 大ホール
名古屋	2016年1月28日	会場：三協化成産業株式会社 名古屋本店
福岡	2016年2月2日	会場：アクロス福岡 会議室 607

[<詳細>](#) お問い合わせ [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

## ■ 随想

### ◇マラウイ共和国旅行記（番外編）ーヨハネスブルグお土産情報ー

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

今回の旅行中、珍しいものを見つけました。

アフリカの家やアフリカ旅行をした人の家にシマウマの毛皮が敷いてあるのを見たことはありませんか？ このシマウマの毛皮。ご自宅に敷いてみたいと思ったことはありませんか？ 本物のシマウマの毛皮、なかなか手に入るものではありません。

ところが、最近では比較的簡単に手に入るようになったようです。南アフリカ共和国ヨハネスブルグ国際空港の免税店に沢山ぶら下がっています。去年まではあんなに沢山なかったのですけど。

野生動物保護エリアであまりにも増えすぎ、間引きが始まったそうです。間引き対象はシマウマだけでなく、スプリングボックも。こちらの毛皮もそのままの形やクッションに加工された状態で販売されています。



どちらの動物も食用に適していれば使い道もあるのでしょうが、あまりにも不味くて現地の人は昔から食べていませんし、日本料理をはじめ世界中のシェフに料理方法を研究してもらったそうですが、何でも食べる中華料理のシェフですら「とても食べられるものではない」と匙を投げられたとか。結局、観光客相手にその毛皮を売ることになったようです。

免税店の人に「売れてる？」と聞いたところ、「(-\_-;」シマウマ、丸ごと一頭分なので折りたたんだとしても結構な大きさに。



数年前、ヨハネスブルグと関西新空港との間に半年間だけ南アフリカ航空が直行便を飛ばしていたことがあったので（採算が合わず、速攻で日本路線から撤退）、そのときなら、買って帰る人がいたかもしれませんが、いまではヨーロッパ、中東、日本以外のアジアの国で乗り継がなければならぬので、乗り継ぎで次のフライトの機内に持ち込む際、大きさの関係で拒否される可能性もあります。

そりゃ、買う人はいませんよね (^\_^;

もしかすると、購入すると梱包して、ちゃんとチェックインバゲッジ扱いにしてくれるのかもしれませんが。在庫は沢山あったので、もし、ご興味のある方で、ヨハネスブルグ国際空港を利用されるチャンスがある方は、購入されてはいかがでしょうか？

(完)

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

10 月末、東京都杉並区善福寺川沿いの池で小枝にとまっているカワセミをみつけ、水中に飛び込んで魚やエビを捕らえている姿を写真に収めました。鮮やかなコバルトブルーの羽をもち長いくちばしが特徴なあのカワセミです。

かつて、新幹線がトンネルの入口でドンという騒音が発生する現象があって、それを解消するのに鳥からヒントを得た話を聞いたことがあります。カワセミのくちばしは最も空気抵抗が小さい形をしていることがわかり、そのくちばしにそっくりな先端を持つ新幹線（500 系）が誕生したそうです。自然に学ぶことの大切さを改めて感じています。（UCH）



## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)